

専門職大学「経営情報ビジネス分野」認証評価に関する基礎要件データ

○ 本データ集について

- ・ 本データ集は、評価対象となる事項のうち、主に法令等の基礎要件に係るものの状況を表すためのものです。基礎要件の具体的な内容は、表ごとに示しています。
- ・ 本データ集で示す内容については、原則として点検・評価報告書への記載は不要です。ただし、一部の表については、関連する評価の視点において本表の内容を踏まえて、取組みの適切性や妥当性を点検・評価し、報告書へ記載する必要があります。表の下に*で関連する評価の視点が示されている場合には、点検・評価報告書にて上述のような内容を説明してください。なお、その際に、本表の内容を点検・評価報告書に転記する必要はありません（点検・評価報告書において基礎要件データ参照と記載することは可能です）。

○ 作成上の注意点について

- ・ 表の専門職大学記載欄に記載してください。記載すべき内容は、それぞれの欄に※で示しています。記載時には、※の内容を削除し、各専門職大学の状況を記載してください。
- ・ 「添付してください。」と記載の事項は別紙で資料を作成して添付してください。
- ・ 特に指定がない限り、認証評価が行われる前年度の状況を記載してください。複数年度の状況を記載すべき場合には、認証評価実施年度を「N年度」とし、それ以前の年度を「N－1年度」など示しています。
(例：2024年度に認証評価を実施する場合、「N－1年度」は2023年度、「N－2年度」は2022年度、「N－3年度」は2021年度、「N－4年度」は2020年度、)
- ・ その他、特定の表に関する注意事項は、表に[注]として示しています。

基準 1 使命・目的**中項目：1 目的の設定**

表 1：固有の目的を定めた学則等〔専門職大学設置基準第 2 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
固有の目的を学則等に定めていること	定めている学則等の名称及び該当する箇所	<ul style="list-style-type: none"> ※ 該当する学則等の文書の名称及び該当箇所を記載してください。 ※ 学内外に周知する方法と、それを示す資料の番号（ウェブサイトの場合は URL）及び資料名称を記載してください。

* 関連する評価の視点 1-1-1

基準 2 教育課程、教育方法、学習成果**中項目：1 学位授与方針及び教育課程の編成・実施方針**

表 2：学位授与方針、教育課程の編成・実施方針〔学校教育法施行規則第 165 条の 2〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を策定していること	学位授与方針	<ul style="list-style-type: none"> ※ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を記載してください。 ※ 学内外に周知する方法と、それを示す資料の番号（ウェブサイトの場合は URL）及び資料名称を記載してください。
教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を策定していること	教育課程の編成・実施方針	<ul style="list-style-type: none"> ※ 教育課程の編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）を記載してください。 ※ 学内外に周知する方法と、それを示す資料の番号（ウェブサイトの場合は URL）及び資料名称を記載してください。

* 関連する評価の視点 2-1-1

中項目：2 教育課程の編成・授業科目・授業方法

表3：教育課程の編成と授業科目・授業方法〔専門職大学設置基準第9条、第11条、第12条、第13条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を踏まえた教育課程の編成・実施方針に基づき、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること	教育課程	※ 教育課程表を添付してください。（基礎科目、職業専門科目、展開科目、総合科目の科目群の明示）。 教育上主要と認める科目を明示して下さい。 ※ 学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）と授業科目の相関関係を示す資料を添付してください。（例：カリキュラム・マップなど） ※ 教育課程の系統性、段階性を示す資料を添付してください。（例：※カリキュラムツリー（履修系統図）など）

* 関連する評価の視点 2-2-1

* 関連する評価の視点 2-4-3

中項目：3 教育の実施

表4：単位の設定〔専門職大学設置基準第14条～第17条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
学生の学習時間等を考慮し、法令上の規定に則して、単位を設定していること	1コマあたりの授業時間	※ 1コマあたりの授業時間（分）を記載してください。
	授業の実施期間	※ 2学期制、3学期制又は4学期制のいずれかを採用しているか記載してください。 ※ また、各学期の期間を何週としているか記載してください。
	試験の実施期間	※ 試験の実施期間をどのように設定しているか記載してください。
	授業を受ける学生数	※ 一つの授業科目について同時に授業を受ける学生数を記載してください。

--	--	--

表5：単位数の上限設定〔専門職大学設置基準第22条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
適切な履修が可能となるよう、履修登録できる単位数の上限を設定していること	履修登録上限単位数	※ 学生が1年間又は1学期に履修登録できる単位数の上限を記載してください。
	例外措置	※ 上記以外の例外的な取扱いがなされる場合があれば、具体的に記載してください。

表6：他の大学又は入学前において修得した単位の認定〔専門職大学設置基準第24条～第25条〕

基礎要件	専門職大学記載欄		
他の大学又は入学前において修得した単位を適切な方法により認定していること	他の大学等において修得した単位の認定	※ 単位数の上限を記載してください。	単位（個別の上限を設定していない場合は「—」）
		(認定している場合) 条件・手続き	
		※ 他の大学等において修得した単位を当該専門職大学で修得した単位として認定することができる場合には、具体的な条件、手続について記載してください。	
		根拠となる規程等の名称及び条項	
	※ 根拠となる規程等の名称及び該当する条項を記載してください。		
入学前において修得した単位の認定	※ 単位数の上限を記載してください。	単位（個別の上限を設定していない場合は「—」）	

		(認定している場合) 条件・手続き	
		※ 入学前において修得した単位を当該専門職大学で修得した単位として認定することができる場合には、具体的な条件、手続きについて記載してください。	
		根拠となる規程等の名称及び条項	
		※ 根拠となる規程等の名称及び該当する条項を記載してください。	
	上記3つをあわせて、最大	※ 単位数の上限を記載してください。	〇〇単位を認定している

中項目：4 学習成果

表7：課程修了の要件〔専門職大学設置基準第27条、28条、29条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
課程の修了認定に必要な在学期間及び修得単位数を適切に設定していること	標準修業年限	※ 標準修業年限を記載してください。 また、根拠となる規程等の名称及び該当箇所も記載してください。
	修了要件単位数	※ 修了要件単位数を記載してください。 また、根拠となる規程等の名称及び該当箇所も記載してください。
	長期履修制度	※ 長期履修制度を設けている場合には、その具体的な内容を記載してください。 また、根拠となる規程等の名称及び該当箇所も記載してください。
	在学期間の短縮	※ 在学期間を短縮することができる場合には、その具体的な内容を記載してください。 また、根拠となる規程等の名称及び該当箇所も記載してください。
	科目等履修生	※ 科目等履修性制度を設けている場合には、その具体的な内容を記載してください。 また、根拠となる規程等の名称及び該当箇所も記載してください。

* 関連する評価の視点 2-4-3

表 8 : 学位の名称〔学位規則第 2 条の 2、第 10 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
分野の特性や教育内容にふさわしい名称を学位に付していること	学位の名称（日本語）	※ 日本語の学位名称を記載してください。
	学位の名称（英語）	※ 英語の学位名称を記載してください。

表 9 : 学位授与の状況

基礎要件	専門職大学記載欄	
学生に明示した基準及び方法によって修了認定をし、学位授与方針に定めた学習成果を達成した学生に対して適切に学位を授与していること	学位授与者数	N - 1 年度
		※ 学位を授与した者の数を記載してください。

* 関連する評価の視点 2-4-3

基準 3 学生の受入れ・支援**中項目：1 学生の受入れ**

表 10 : 定員管理〔専門職大学設置基準第 9 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄	
学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を策定していること	学生の受け入れ方針	※ 学生の受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）を記載してください。 ※ 学内外に周知する方法と、それを示す資料の番号（ウェブサイトの場合は URL）及び資料名称を記載してください。

* 関連する評価の視点 3-1-1

表 11：定員管理〔専門職大学設置基準第 9 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄					
	入学定員に対する 入学者数	入学定員	N－4年度	N－3年度	N－2年度	N－1年度
定員を適正に管理していること		※ 入学定員 (人数) を記載してください。	※ 入学者数を記載してください。 また、括弧書きで入学定員に対する割合を記載してください。	※ 入学者数を記載してください。 また、括弧書きで入学定員に対する割合を記載してください。	※ 入学者数を記載してください。 また、括弧書きで入学定員に対する割合を記載してください。	※ 入学者数を記載してください。 また、括弧書きで入学定員に対する割合を記載してください。
	入学志願者数		※ 入学志願者数を記載してください。	※ 入学志願者数を記載してください。	※ 入学志願者数を記載してください。	※ 入学志願者数を記載してください。
	合格者数		※ 合格者数を記載してください。	※ 合格者数を記載してください。	※ 合格者数を記載してください。	※ 合格者数を記載してください。
	学生収容定員に対する 在籍学生数	学生収容定員	N－4年度	N－3年度	N－2年度	N－1年度
	※ 学生収容定員 (人数) を記載してください。	※ 在籍学生数を記載してください。 また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載してください。	※ 在籍学生数を記載してください。 また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載してください。	※ 在籍学生数を記載してください。 また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載してください。	※ 在籍学生数を記載してください。 また、括弧書きで収容定員に対する割合を記載してください。	

* 関連する評価の視点 3-1-3

[注] 1 各年度とも、5月1日時点の数を記載してください。(秋入学を実施している場合は、欄を追加して入学定員、入学者数、入学志願者数及び合格者数を別に記入したうえで合計欄を設けてください。)

2 割合は小数点以下第3位を四捨五入して小数点以下第2位まで表示してください。

中項目：2 学生支援

表 12：留年・休学・退学の状況

関連する評価の視点	専門職大学記載欄				
	3 学生の受入れ・支援	留年者	N－1年度において留年中の者（学年別）		
※ N－2年度までに留年が決まり、N年－1年度5月1日時点で留年中の者の数を学年別に記載してください。					
休学者		N－1年度において休学中の者（学年別）			
		※ N－2年度までに休学が決まり、N年－1年度5月1日時点で休学中の者の数を学年別に記載してください。			
退学者		N－4年度	N－3年度	N－2年度	N－1年度
		※ 年度内に生じた退学者の数（除籍者を含む）を記載してください。	※ 年度内に生じた退学者の数（除籍者を含む）を記載してください。	※ 年度内に生じた退学者の数（除籍者を含む）を記載してください。	※ 年度内に生じた退学者の数（除籍者を含む）を記載してください。

基準 4 教育研究実施組織等

中項目：2 教員及び事務職員等の配置

表 13：基幹教員数〔専門職大学設置基準第 34 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄		
	法令上必要とされる人数の基幹教員が配置されていること	基幹教員数	法令上の必要最低基幹教員数
※ 法令で求められる基幹教員の必要最低人数を記載してください。			※ 現在の基幹教員数を記載してください。 ※ 教職員編成表、教職員名簿を添付してください。

表 14：教授の割合〔専門職大学設置基準第 34 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄			
	教授数	法令上の必要最低基幹教員数 (A)	現在の教授数 (B)	法令上の必要最低基幹教員数 に占める教授数の割合
法令上必要とされる基幹 教員数の半数以上が教授 で構成されていること		※ 法令で求められる専任教 員の必要最低人数を記載 してください。	※ 現在の教授数を記載してく ださい。	※ (B) / (A) の値を%で 記載してください。(小数 点以下第二位を四捨五 入)。

表 15：実務家教員〔専門職大学設置基準第 31 条、第 35 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄			
	実務家教員数	法令上の必要最低専任教員数 (A)	現在の実務家教員数 (B)	法令上の必要最低専任教員数 に占める実務家教員数の割合
法令上必要とされる基幹 教員数に占める実務家教 員の割合がおおむね 4 割 以上であること		※ 法令で求められる基幹教 員の必要最低人数を記載 してください。	※ 現在の実務家教員数を記載 してください。	※ (B) / (A) の値を%で 記載してください。(小数 点以下第二位を四捨五 入)。
実務家教員は、いずれも 5 年以上の実務経験を有す るとともに、高度の実務能 力を有すること	実務の経験及び能力	5 年以上の実務経験	※ 実務家教員が 5 年以上の実務経験を有していることを確認できている場合には「確認済み」と記載してください。そうでない場合には、具体的な状況を記載してください。	
		高度の実務能力	※ 実務家教員が高度の実務能力を有していることを確認できている場合には「確認済み」と記載してください。そうでない場合には、具体的な状況を記載してください。	

基幹教員のうち、他の専門職大学等においても基幹教員として取り扱われる教員数、期間が法令上の規定に則していること。	他の専門職大学等においても基幹教員として取り扱われる教員数、期間	※該当する基幹教員名	※ 他の専門職大学等の名称、学部を記載してください。
必要な教員及び事務職員等からなる教育研究実施組織を編制していること。	事務局組織体制	※事務職員等の配置数	※ 組織体制、組織規程等円滑な組織体制を整備し必要な事務職員等の配置が確認できる資料を添付してください。

表 16：専攻分野における業績、技術・技能又は知識・経験及び高度の教育上の指導能力〔専門職大学設置基準第 37 条から第 42 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄		
基幹教員は、専攻分野における優れた業績、技術・技能又は知識・経験を有するとともに、高度の教育上の指導能力を備えていること	専攻分野における優れた業績、技術・技能又は知識・経験	専攻分野について、教育上又は研究上の業績を有する者	※ 左記に該当する基幹教員の氏名及び保有する学位を列記してください。
		専攻分野について、高度の技術・技能を有する者	※ 左記に該当する基幹教員の氏名を列記してください。
		専攻分野について、特に優れた知識及び経験を有する者	※ 左記に該当する基幹教員の氏名を列記してください。
	高度の教育上の指導能力	※ 当該専門職大学において「高度の教育上の指導能力」をどのように捉え、確認しているのか記載してください。	

* 関連する評価の視点 4-2-1

表 17：基幹教員の年齢構成〔専門職大学設置基準第 31 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄							
	職位	70 歳以上	60～69 歳	50～59 歳	40～49 歳	30～39 歳	29 歳以下	計
教員の構成が特定の範囲の年齢に著しく偏っていないこと	教授							
	准教授	※ それぞれの欄に、該当する人数を記載するとともに、当該職位中に占める割合を括弧書きで書き添えてください。(小数点以下第一位を四捨五入) 年齢区分ごとの計欄は、人数のみを記載してください。						
	講師							
	助教							
	計							

* 関連する評価の視点 4-2-3

表 18：基幹（兼務）教員〔専門職大学設置基準第 35 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄				
	基幹（兼務）教員	当該専門職大学以外（他の学部又は研究科）においても基幹教員等として取り扱われている者の氏名	学部	修士／博士前期／他の専門職学位課程	博士後期
基幹教員のなかに当該専門職大学以外の学部又は研究科においても基幹教員等として取り扱われる（ダブルカウントされる）者がいる場合には、その人数及び期間が法令上の規定に則したものであること		※ 該当する者の氏名を記載してください。 なお、必要に応じて行を追加してください。以下同様です。	※ 該当する場合には、具体的な学部名を記載してください。以下同様です。	※ 該当する場合には具体的な専攻名を記載してください。以下同様です。	※ 該当する場合には具体的な専攻名を記載してください。以下同様です。

5 教育環境の整備、社会との関係

項目：社会との関係、情報公開

表 19：教育研究活動の状況を公表〔学校教育法第 113 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄
教育研究活動の状況を公表していること	※ 公表の方法（URL など）を示してください。

* 関連する評価の視点 5-3-2

表 20：教育課程連携協議会の設置及び構成〔専門職大学設置基準第 10 条、第 43 条から第 51 条〕

基礎要件	専門職大学記載欄		
校地、校舎の施設及び設備等は、法令上の規定に則し整備していること	※ 施設の概要、(校地、校舎等)配置図を添付してください。(例示した様式を参考に作成してください。任意) ※ 教育器具、機械、図書その他備品の一覧表を添付してください。(例示した様式を参考に作成してください。任意)		
教育課程連携協議会を設置していること	教育課程連携協議会の有無	※ 「有」又は「無」と記載してください。	
教育課程連携協議会の構成が適切であること	教育課程連携協議会の構成	学長又は当該専門職大学の長が指名する教員その他の職員	※ 該当する者の氏名及び所属を記載してください。
		当該専門職大学の課程に係る職業に就いている者又は当該職業に関連する事業を行う者による団体のうち、広範囲の地域で活動するものの関係者であつて、当該職業の実務に関し豊富な経験を有するもの	※ 該当する者の氏名及び所属を記載してください。

		<p>地方公共団体の職員、地域の事業者による団体の関係者その他の地域の関係者（教育の特性により適当と判断される場合のみ）</p>	<p>※ 該当する者がいる場合には、その氏名及び所属を記載してください。また、該当する者がいない場合には「該当なし」と記載してください。</p>
		<p>当該専門職大学を置く大学の教員その他の職員以外の者であって学長又は当該専門職大学の長が必要と認めるもの</p>	<p>※ 該当する者がいる場合には、その氏名及び所属を記載してください。また、該当する者がいない場合には「該当なし」と記載してください。</p>

* 関連する評価の視点 5-3-1